

- 〔 名前 〕 阿部和子
- 〔 職位 〕 大学 乳児保育学科 特任教授
- 〔 保有学位 〕 家政学修士
- 〔 担当科目 〕 保育原理、乳児後期の子どもの生活と保育、
乳児保育の計画
- 〔 専門分野 〕 保育学、乳児保育、乳幼児発達心理学

〔 学外活動 〕

日本保育学会会員、国際幼児教育学会会員、保育者養成教育学会会員、
保育教諭養成課程研究会員、日本乳幼児・保育者養成学会員
全国保育士会研究紀要編集委員、日本保育学会『保育学研究』編集常任委員会の専門委員
千葉県子ども子育て会議委員副委員長・同幼保連携型認定こども園部会副委員長、千葉県
社会福祉審議会臨時委員(重大事故)
柏市保育園等整備選定委員会・外部アドバイザー、柏市保育のあり方検討懇談会委員
社会福祉法人教信精舎小台橋保育園、夕やけ小焼け保育園評議委員、
社会福祉法人千草会おお田保育園・花ノ井保育園・北の杜保育園評議員

〔 主な教育・研究業績 〕

主な著書(過去 10 年間)

- ・ 共編著 3 歳児の指導計画ー子ども理解と書き方のポイント (2022) 中央法規
- ・ 共編著 4 歳児の指導計画ー子ども理解と書き方のポイント (2022) 中央法規
- ・ 共編著 5 歳児の指導計画ー子ども理解と書き方のポイント (2022) 中央法規
- ・ 共編著 0 歳児の指導計画ー子ども理解と書き方のポイント (2021) 中央法規
- ・ 共編著 1 歳児の指導計画ー子ども理解と書き方のポイント (2021) 中央法規
- ・ 共編著 2 歳児の指導計画ー子ども理解と書き方のポイント (2021) 中央法規
- ・ 単著 子ども家庭支援論(2020) 萌文書林
- ・ 共編著 乳児保育の理論と実践(2019) 光生館
- ・ 編著 改訂乳児保育の基本(2019) 萌文書林
- ・ 共著 保育内容総論ー保育の構造と実践の探究(2019) 萌文書林
- ・ 編著 最新保育士養成講座第 1 巻 保育原理(2019) 全国社会福祉講義会
- ・ 共著 事例で学ぶ「要録」の書き方ガイド(2019) 中央法規
- ・ 共著 子どもの育ちが見える「要録」作成のポイント(2018) 中央法規

- ・共著 改定保育所保育指針・解説を読む(2018) 全国社会福祉講義会
- ・編著 保育士等キャリアアップ研修テキスト 乳児保育(2018) 中央法規
- ・共著 幼保連携型認定こども園教育・保育要領ハンドブック(2017) 学研
- ・共著 保育祖保育指針ハンドブック(2017) 学研
- ・共著 保育所保育指針まるわかりガイドブック(2017) チャイルド本社
- ・共著 幼保連携型認定こども園教育・保育要領まるわかりガイドブック(2017) チャイルド本社
- ・単著 保育所保育指針中間とりまとめのポイント(2016) 全社協ブックレット⑦
全国社会福祉協議会
- ・単著 養護と教育が一体となった保育を言語化するとは(2016) 養護と養育が一体となった保育の言語化
全国社会福祉協議会
- ・共著 日本保育学会編保育学講座4 保育者を生きる・専門性と養成(2016)
東京大学出版会
- ・共編著 2歳児のすべてがわかる(2016) 明治図書
- ・単著 家庭支援論ー子どもが子どもの生活をするためにー(2015) 萌文書林
- ・共著 保育者論(2012) 萌文書林
- ・共編著 保育内容総論(2011) 全国社会福祉協議会
- ・編著 保育課程の研究(2009) 萌文書林
- ・共著 園長の責務と専門性の研究(2009) 萌文書林
- ・単著 III保育所保育指針の改定のポイント：保育の内容3歳未満児(2009)
別冊発達 新幼稚園教育要領・新保育所保育指針のすべてミネルヴァ書房
- ・共著 子どもの家庭福祉論(2008) 相川書房

主な研究(過去10年間)

- ・単著 子どもの日常の姿から発達を捉える試み(2020) 子ども学研究
- ・単著 3歳未満児が育つ場としての集団の検討(2017) 子ども臨床研究第4号
- ・単著 3歳未満児の自発性を育てる保育カリキュラムの開発(2016)
人間生活文化研究 26巻
- ・単著 乳児期における「望ましい未来を作り出す力の基礎を培う」保育所保育の検討
(2016) 人間生活文化研究 26巻
- ・共同研究 近代日本における育児行為と育児用品にみられる子育ての変化に関する一考察(2015) 人間生活文化研究 25巻
- ・共同研究 (平成27年度子ども子育て推進調査研究事業・厚生労働省) 保育士養成のり方に関する研究(2015)全国保育士養成協議会
- ・単著 児童臨床研究センターにおける子育て支援考：日常の中の相談(2015)
子ども臨床研究第1, 2合併号
- ・単著 「養護と教育が一体的に行われる」ということを子どもの生活から考える」
(2013) 保育と実践の研究 18巻 2号

- ・単著 乳児の生活の質を担保する仕組みとしての家庭的保育の可能性—X 区の「S 保育ママ（家庭福祉員）を事例にして(2012) 保育と実践の研究 16 巻 4 号
- ・共著 質の高い遊びとは何か:遊びの質を規定するための条件(2011)
保育学研究第 49 巻 第 3 号